



第2回せたな町民スキー大会

2月8日(日)、せたな町丹羽スキー場において、第2回せたな町民スキー大会が開催され、小学生48名、一般13名の選手が出場しました。大会は、小学生から一般成人までが大回転、その他、幼児と小学校低学年でソリ・スキー種目を実施しました。参加選手は、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、好タイムが続出するなど大盛況な大会となりました。



大回転部門		第1位	第2位	第3位
小学1・2年生	男子	小澤 裕太(北檜山小)	長岡 礼穂(北檜山小)	大関 翔也(玉川小)
	女子	上野 有紗(久遠小)	横田ひかり(久遠小)	佐野 涼花(久遠小)
小学3・4年生	男子	小泉 星太(北檜山小)	手塚 大樹(久遠小)	三浦 琢斗(北檜山小) 平澤 亮斗(久遠小)
	女子	斉藤みやび(北檜山小)	須田 美好(瀬棚小)	山崎代史伽(北檜山小)
小学5・6年生	男子	田中 佑磨(玉川小)	横田 朝陽(久遠小)	赤堀 冴太朗(北檜山小)
	女子	田中 史子(小倉山小)	横井 千夏(太檜小)	杉村砂優里(久遠小)
一般	男子	志和 勝美(大成区)	清水 孝寿(大成区)	西村 竜太(大成区)
	女子	藤谷 久子(大成区)	横田 美代(大成区)	柘田美和子(大成区)

平成20年度せたな町高齢者大学修了式

2月13日(金)、せたな町民ふれあいプラザにおいて、せたな町高齢者大学修了式が行われました。今年度の修了生は、北檜山いきがい学園94名、大成くおん大学28名、瀬棚寿大学16名となり、各大学の代表者へ修了証書が手渡されました。

式典終了後に、道高むつ子氏による記念公演が行われ、「江差追分に想う」をテーマに、これまでの歩み(小講演)や民謡・歌謡曲などを披露していただき、迫力のある歌声に拍手喝采となりました。



大成区女性研修交流会

2月15日、大成区女性団体連絡協議会主催による、女性研修交流会が農漁村総合センターで開催され、54名の女性会員が参加しました。午前部の部では、カローリング交流大会を開催。昨年度も実施した甲斐もあって、要領を覚えた会員さん方は、チームで作戦を練り、どの試合も白熱したバトルが繰り広げられました。

優勝したのは、地区会長連合チーム(金子さん・濱野さん・本間さん)でした。午後の部では、平田内小学校の杉村先生、長磯小学校の竹内先生を講師としてお招きし、普段の運動不足を解消に、リズム遊びやフォークダンスで心地よい汗を流しました。



古く東西人間社会の厳然たる習いとして葬送の儀があります。特に、遺族の成員である子どもをも立ち会わせることが大切であると考えます。死生観、命の尊厳さ家族愛など人間として成長過程にとって必要な糧であり、貴重な機会となるはずで、血縁、地縁が薄れていく昨今、葬儀規模の大小はさておいて、遺族や故人の知己などが「おくりびと」として懇ろに葬送の儀にあたりたいものです。

楽団の解散でチェロ奏者の道を絶たれ、故郷でひよんなことから、「納棺師」となった主人公が様々な死と向き合うことで、そこに息づく愛の姿を見つめていくストーリーです。主演の本木雅弘さんは「誰にも訪れる最後の瞬間をより良いものにするためのお手伝いをするのが納棺師」とインタビューで答え、死に装束、死に化粧など一連の所作ひとつひとつを「匠の仕事」「美学の極致」として演ずる姿は観る者を刮目(かつもく)させること評されています。大切な人をどう送るか、どう送りたいかというすべての人に普遍的なテーマを通して、夫婦、子ども、父や母、祖父母などの肉親への想い、生死、愛、命の有様を現代社会に提起していると考えられます。

**プ
リ
ズ
ム**

映画「おくりびと」がアカデミー賞(アメリカ映画芸術科学アカデミー・一九二七年創立)外国優秀映画賞受賞は日本映画界初の快挙であり、いろんな面で反響を呼んでいます。題材が地味で重たい感じから、前評判に反しての受賞は驚喜そのものの感があります。



平成20年度北檜山区女性研修交流会

2月16日（月）、せたな町民ふれあいプラザにおいて、北檜山区の女性会員が集い、研修交流会が開催されました。「あなたらしくわたしらしく 温もりある地域社会」を研修テーマに、午前中は「介護」を学び、午後からは「ステップダンス」を行い、心地よい汗を流しながら互いの交流が深められました。



平成20年度「子育て学級」 （平田内小学校・長磯小学校合同家庭教育学級）

2月26日（木）、平田内小学校・長磯小学校の児童の保護者を対象に、子育てに関わる知識や技術、家庭教育力の向上、子どもに関する諸課題の解決に向けた取り組みとして、「子育て学級」が平田内小学校を会場に開催されました。

参加者からは、「家庭それぞれの対応の仕方」「親の考え方の違い」「自分以外の子育て感を得た」など、我が子を再度見つめ直す機会として効果が得られた学習機会となりました。



ウィークエンド活動促進事業「雪合戦体験」

2月28日（土）、北檜山区のスポーツ公園テニスコート内において、雪合戦体験が行われました。当日は、少し肌寒い風が吹いておりましたが晴天となり、北檜山区・瀬棚区の小学生37名が参加しました。

雪合戦協会の指導のもと、基本的なルールや動きを学び、数グループに分かれて実際に対戦を行いました。

試合は、ハッスルプレーや珍プレーが続出するなど白熱した試合となり、楽しいひとときとなりました。



大成区親子ふれあい推進事業 「第14回ミニミニ大運動会」

大成区親子ふれあい推進事業実行委員会（石原広務委員長）主催の「第14回ミニミニ大運動会」が、3月1日（日）、大成農漁村総合センターで開かれ、幼児から大人まで区民94名が参加しました。

なわとびコンテストや10人11脚など公認記録も含めて、大会新記録や歴代ベストテン内にランクインするなど数々の新記録が生まれました。

また、お昼にはバイキング、お楽しみ抽選会など、豪華盛りだくさんの1日となりました。

